DOCOMO TEAM DANDELION RACING
Team Release

決勝レポート

2026/11/22　Rd-12 鈴鹿サーキット

天候：晴れ/曇り　　気温：13℃　　出走台数：24 台

観客数：20 日(金)4,500 人　21 日(土)21,000 人　22 日(日)28,000 人　合計 53,500 人

チームタイトルとドライバータイトルのダブルタイトルを獲得して迎える 2026 シーズン最終第 7 大会 JAF グランプリ最終戦第 12 戦。
スタートが近づくにつれ雲に覆われ始めた鈴鹿サーキットは、気温 13 度、路面温度 17 度の寒空の中スタートの時を迎えた。
3 列目 5 番手スタートの牧野選手は素晴らしいスタートで太田選手を抜いて 4 番手、太田選手は 5 番手でオープニングラップを周回。
3 周目には牧野選手と太田選手の 4 番手争いが白熱、1 コーナーにサイドバイサイドで飛び込むと、太田選手がポジションを取り戻し 4 番手に。
更に太田選手は、7 周目のシケインで岩佐選手をパスすると、ファステストラップを刻みながら前を追う展開。
8 周目にピットウィンドウが開くと、チームはポジションを落としていた牧野選手をピットに呼びタイヤを交換、クリーンエアの中でタイムを延ばす戦略に。
ステイアウトを選択した太田選手は、トップを走る野尻選手とのギャップをモニターしながら暫定首位のまま 26 周目までピットインを引っ張りピットへ。
タイヤ交換を終えてコースに復帰した時点で野尻選手は先行。
ここからフレッシュタイヤを活かし、ファステストラップを連発しながら野尻選手とのギャップを詰めていくが、逆転には至らず 2 位でフィニッシュ。
牧野選手は、岩佐選手、福住選手との 3 位争いを最後まで続けるが、膠着状態のまま 5 位で最終戦を終え、2026 ドライバーランキングは太田選手がシリーズチャンピオン、牧野選手は 6 位。
DOCOMO TEAM DANDELION RACING は、3 年連続となる 2026 チームタイトルを獲得した。

5：牧野任祐選手 5位　2026年ドライバーランキング6位

スタートはよく順位を上げることが出来ました。
レース前半は思うようにペースが上げられず早目のピットインを選択しました。
第2スティントは3位争いの中でペースもあって、膠着状態の中、抜くには至らなかったですがいいバトルが出来ました。しかしトップ2台のペースは見えなかったですね。
今シーズン、序盤で躓きがあり、シーズン中もセットアップで悩んでしまう事もあったりと、結果的にチャンピオン争いに加わることが出来なかった事は残念です。
車と、自分自身も、良いときと上手く行かないときの波があって、この点が今後の大きな課題と考えています。
そんな中でも3年連続チームタイトル獲得という、チーム一丸となって目指した目標の一つに貢献できたことはとても誇らしいですし、素晴らしいパフォーマンスでドライバータイトルを決めた太田選手には心から祝福したいです。
来シーズンはチームメイトと共にさらに強くなれるよう前進します。
多くのファンの声援にたくさんの力をいただきました。スポンサーの皆様、最高の環境を準備してくれたチームにも感謝しています。

6：太田格之進選手 2位　2026年ドライバーシリーズチャンピオン

スタートがあまりうまくいかなくて1ポジションダウンとなりましたが、そこから自力でオーバーテイクもでき、ピット戦略も良かったです。
パフォーマンスも十分で、ペースもよくて優勝も狙えると思いましたが、野尻選手を攻略するには至りませんでした。
シリーズチャンピオンを決めた後のレースで、攻めて走って表彰台で終えたいと思っていたので、気持ちよく良いレースが出来ました。
シーズン中は、ペナルティや接触などでレースを落とすこともありましたが、シーズン通して安定したパフォーマンスで自信をもって戦う事が出来ました。
シーズンを通して支えてくれたチームに対し、牧野選手と二人でチームタイトルに貢献し、ダブルタイトルを獲得できたのは素晴らしいことだと思います。
もっともっと強く速くなって、来年もダンディライアンと一緒に皆様に興奮するレースを届けられたら最高です。

DOCOMO TEAM DANDELION RACING
2026シリーズ　チームチャンピオン